

2018年度 決算説明資料

2019年 5月 9日

証券コード : 6455

株式会社 **モリタホールディングス**

<https://www.morita119.com>

● 2018年度 実績

- 売上高は7.0%増、純利益は11.3%増で過去最高を更新、
営業利益も11.8%増で過去2番目の高水準
 - 全セグメントで増収増益を達成
- 年間配当金は、8円増配の34円
- 最終年度を迎えた中期経営計画の経営数値目標は下回るも、
3年間で売上高、営業利益は着実に成長
 - さらなる成長のため、新中期経営計画「Morita Reborn 2025」を策定

● 2019年度 予想

- 売上高は3.9%減、営業利益は3.0%減を予想
 - 売上高は過去2番目、営業利益も過去3番目の高水準を維持で、
消防車両事業以外のセグメントは増収増益の計画
 - 次年度に繰り越す消防車の規模が現状不透明
- 年間配当金は、4円増配の38円とし、DOE2.5%以上を目安とする

基本情報



- 社 名 : 株式会社モリタホールディングス
(英文名称 : MORITA HOLDINGS CORPORATION)
- 創 業 : 1907 (明治40) 年4月23日
- 設 立 : 1932 (昭和07) 年7月23日
- 代 表 者 : 代表取締役会長兼CEO 中島 正博
代表取締役社長 尾形 和美
- 資 本 金 : 47億4,612万円
- 連 結 売 上 高 : 915億円 [2019年3月期]
- 連 結 従 業 員 数 : 1,750名 [2019年3月31日現在]
- 連 結 子 会 社 : 14社
- 持 分 法 適 用 会 社 : 3社
- その他グループ会社 : 6社

事業概要



セグメント	消防車両 事業	防災 事業	産業機械 事業	環境車両 事業
営業品目				
	消防車両 消防車両メンテナンス	消火器 消火設備	産業廃棄物処理機 リサイクルプラント 各種ごみ処理施設	衛生車 塵芥車 環境保全車両
主要 事業会社	モリタ モリタテクノス Bronto Skylift	モリタ宮田工業	モリタ環境テック	モリタエコノス
売上高	546億円 (59.7%)	216億円 (23.6%)	47億円 (5.1%)	106億円 (11.5%)
営業利益	62.6億円 (66.0%)	21.2億円 (22.3%)	3.8億円 (4.0%)	7.8億円 (8.2%)
国内シェア [※] (推定)	消防車 : 57%	消火器 : 32%	切断機 : 59%	衛生車 : 85%

※「売上高」、「営業利益」、「国内シェア（推定）」は、2018年度実績

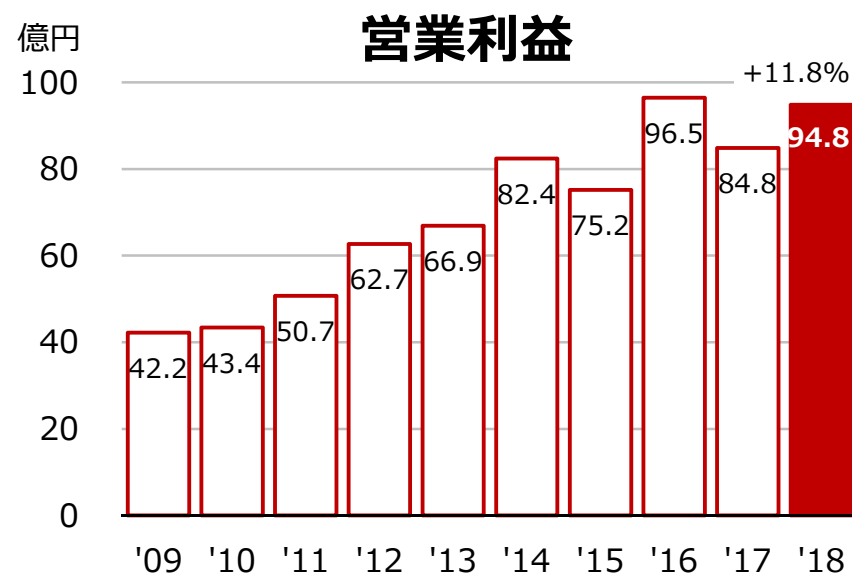
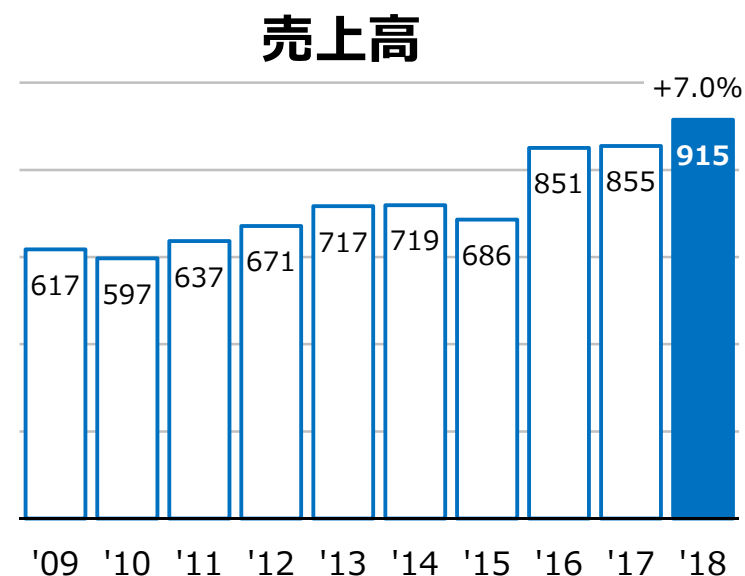
※ 自社調べ

I . 2018年度 決算概要

連結損益計算書



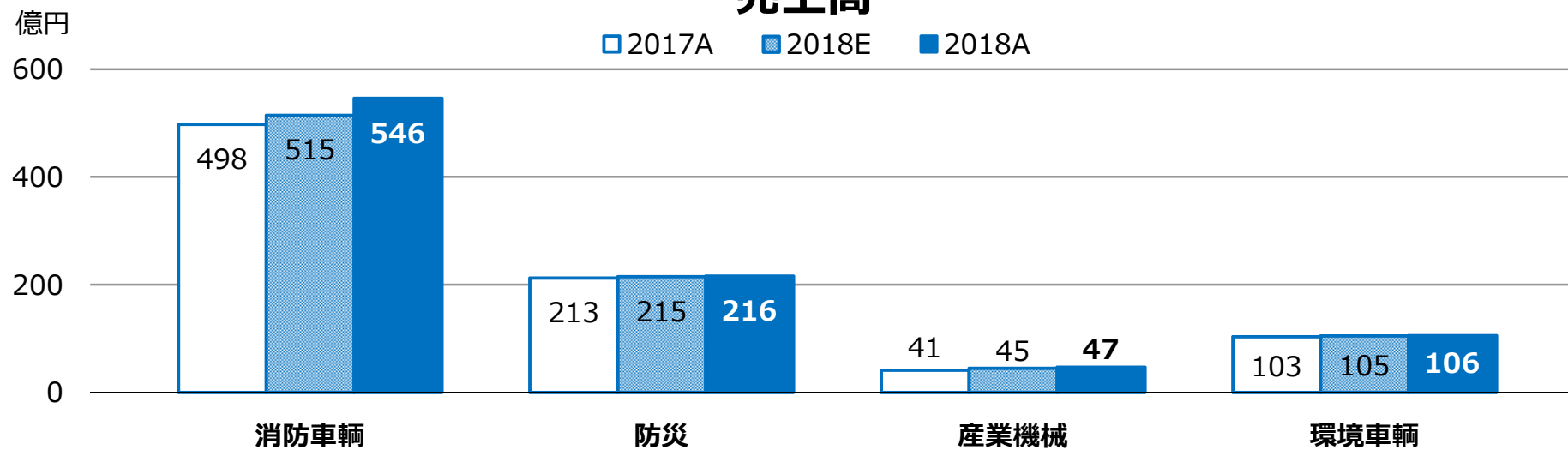
(億円)	2017	2018	増減	億円
売上高	855 100.0%	915 100.0%	+60	1,000
売上原価	638 74.6%	679 74.1%	+41 -0.5pt.	800
売上総利益	217 25.4%	237 25.9%	+20 +0.5pt.	600
販管費	132 15.5%	142 15.5%	+10 +0.0pt.	400
営業利益	85 9.9%	95 10.4%	+10 +0.4pt.	200
営業外収益	7 0.9%	9 0.9%	+1 +0.1pt.	0
営業外費用	2 0.2%	2 0.3%	+0 +0.0pt.	億円
経常利益	90 10.6%	101 11.0%	+11 +0.5pt.	100
特別利益	0 0.0%	0 0.0%	-0 -0.0pt.	80
特別損失	1 0.1%	1 0.2%	+0 +0.0pt.	60
税引前利益	90 10.5%	100 10.9%	+10 +0.4pt.	40
当期純利益	57 6.7%	64 7.0%	+7 +0.3pt.	20



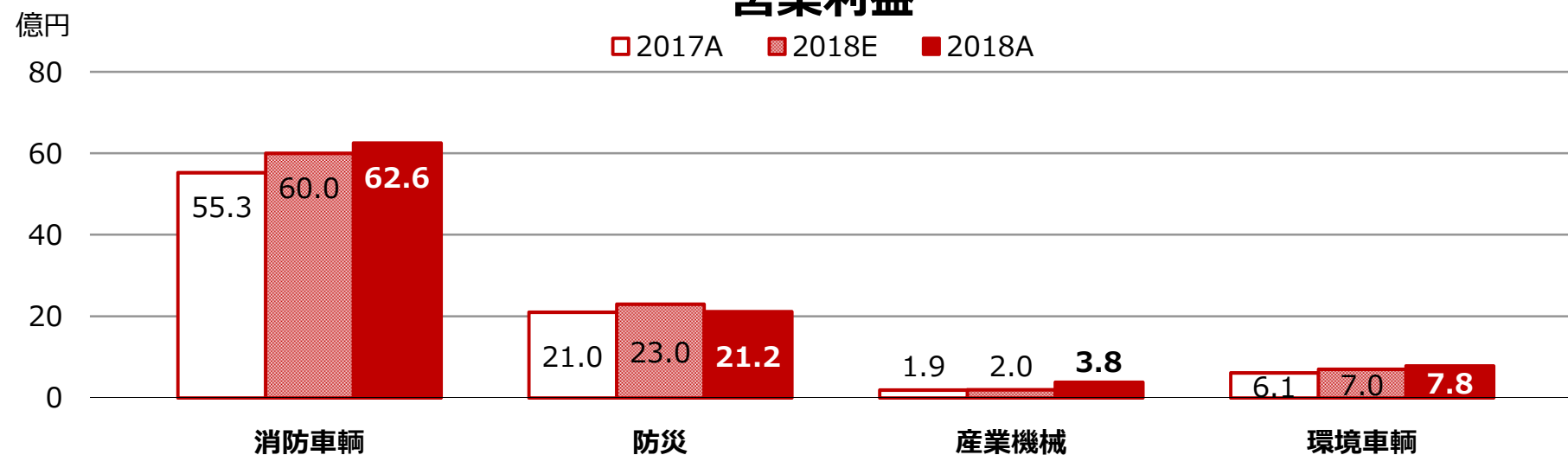
セグメント別 収益実績



売上高



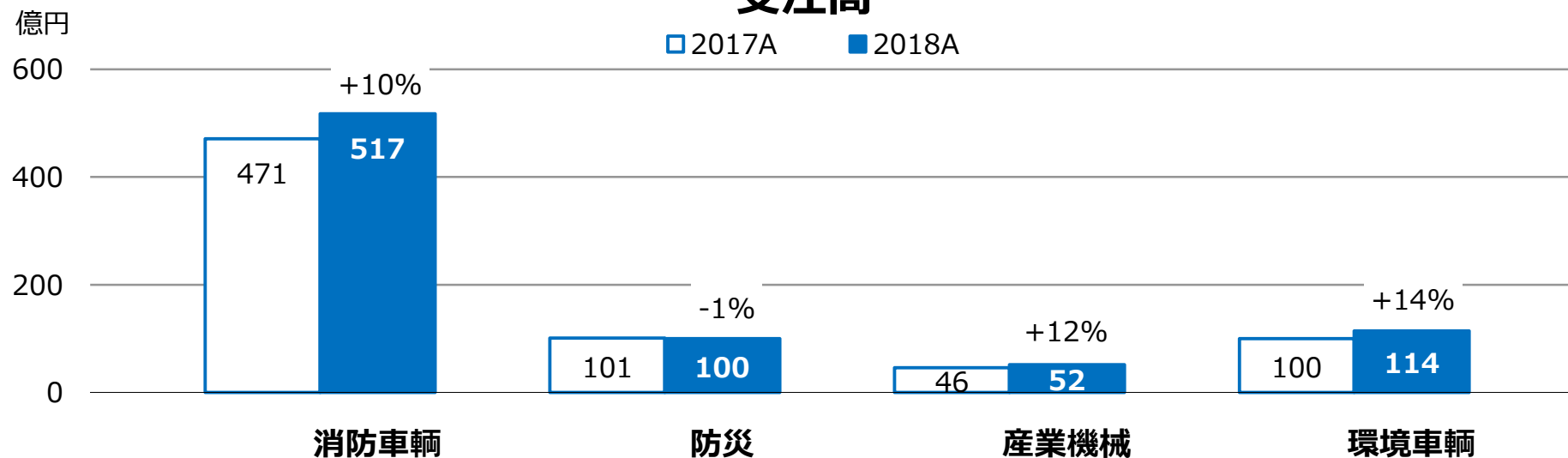
営業利益



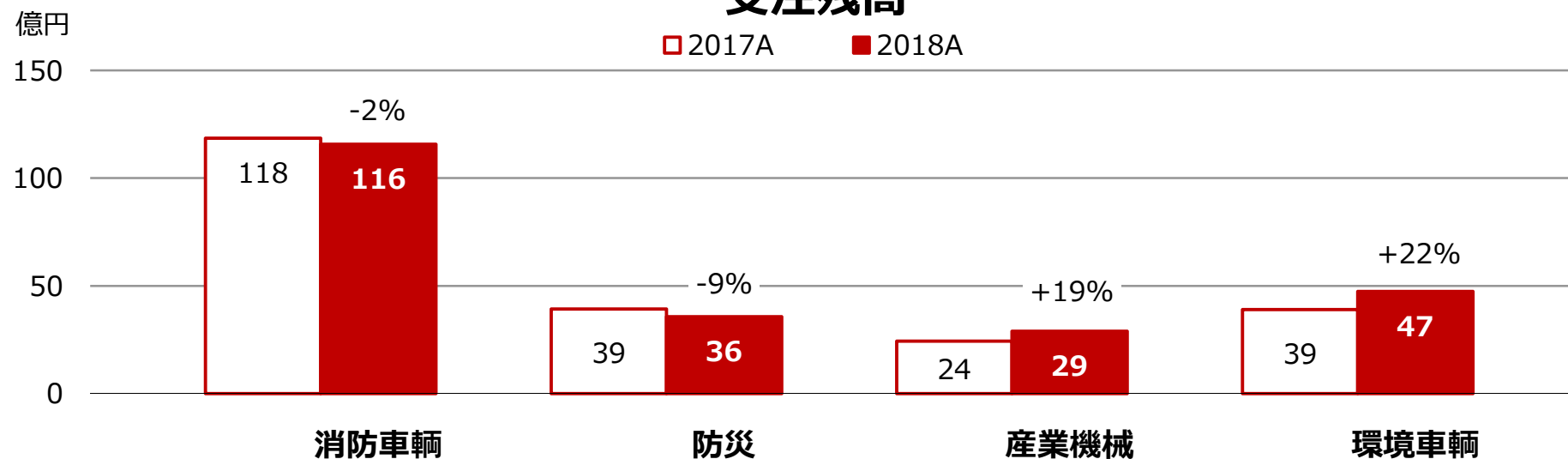
セグメント別 受注状況



受注高



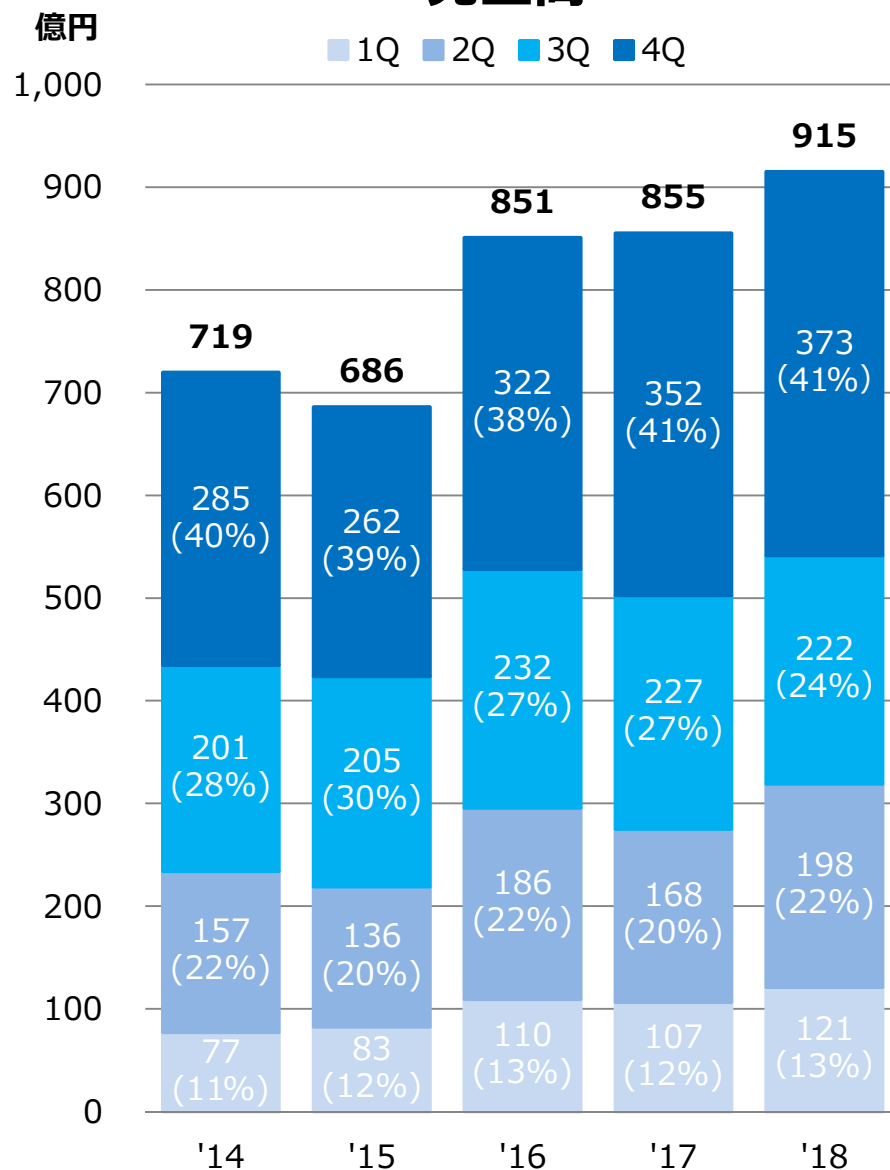
受注残高



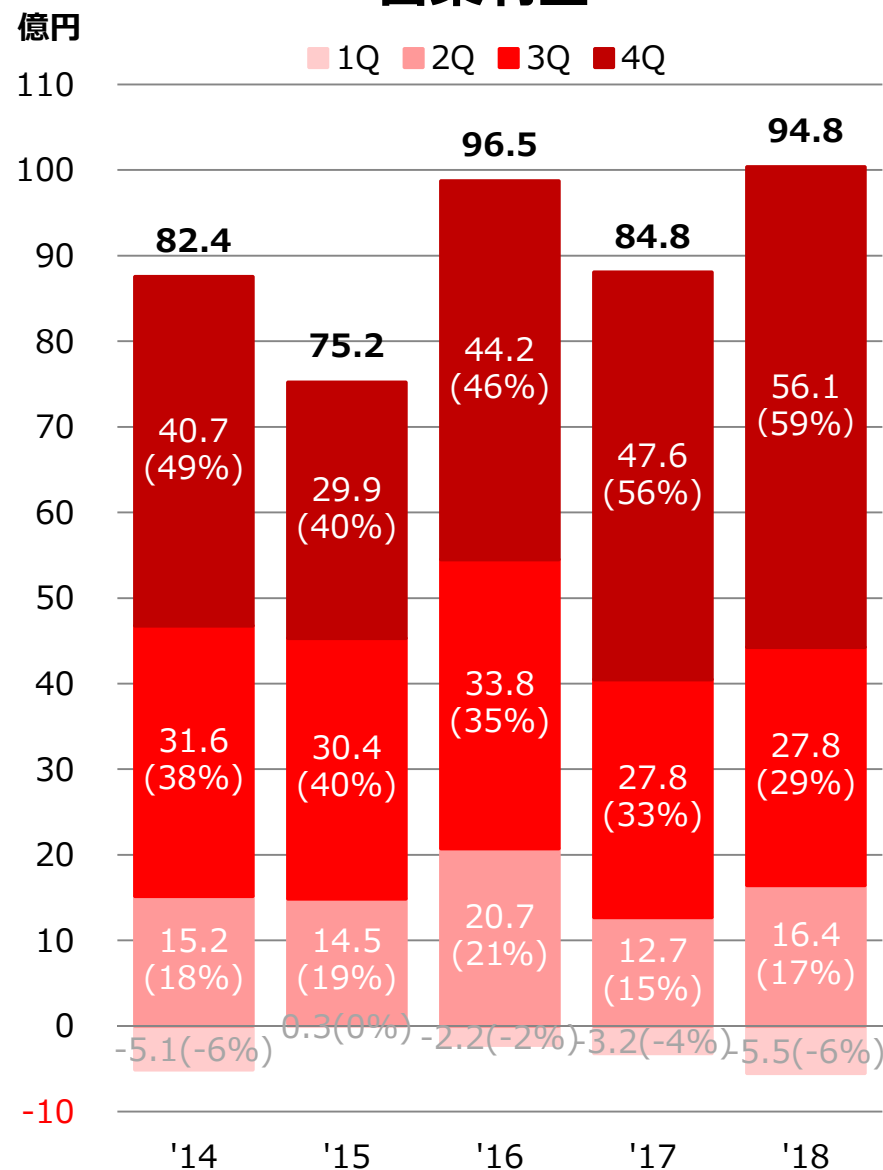
四半期収益構成



売上高



営業利益



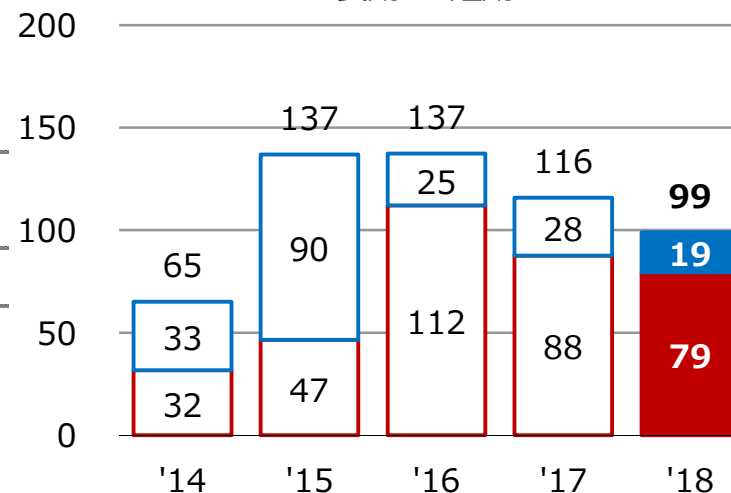
連結貸借対照表



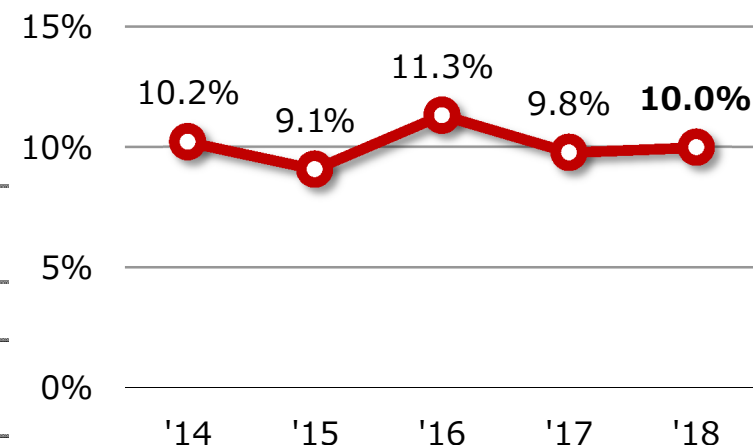
(億円)	2017	2018	増減	
流動資産	587 51.3%	623 53.2%	+36 +1.9pt.	億円
固定資産	557 48.7%	549 46.8%	-9 -1.9pt.	200
資産合計	1,144 100.0%	1,172 100.0%	+28	150
流動負債	348 30.4%	332 28.3%	-16 -2.1pt.	100
固定負債	169 14.8%	164 14.0%	-5 -0.8pt.	50
負債合計	517 45.2%	496 42.3%	-21 -2.9pt.	0
自己資本	618 54.0%	665 56.8%	+48 +2.8pt.	
非支配株主持分	9 0.8%	11 0.9%	+1 +0.1pt.	
純資産合計	627 54.8%	676 57.7%	+49 +2.9pt.	
負債純資産合計	1,144 100.0%	1,172 100.0%	+28	

有利子負債

■長期 ■短期



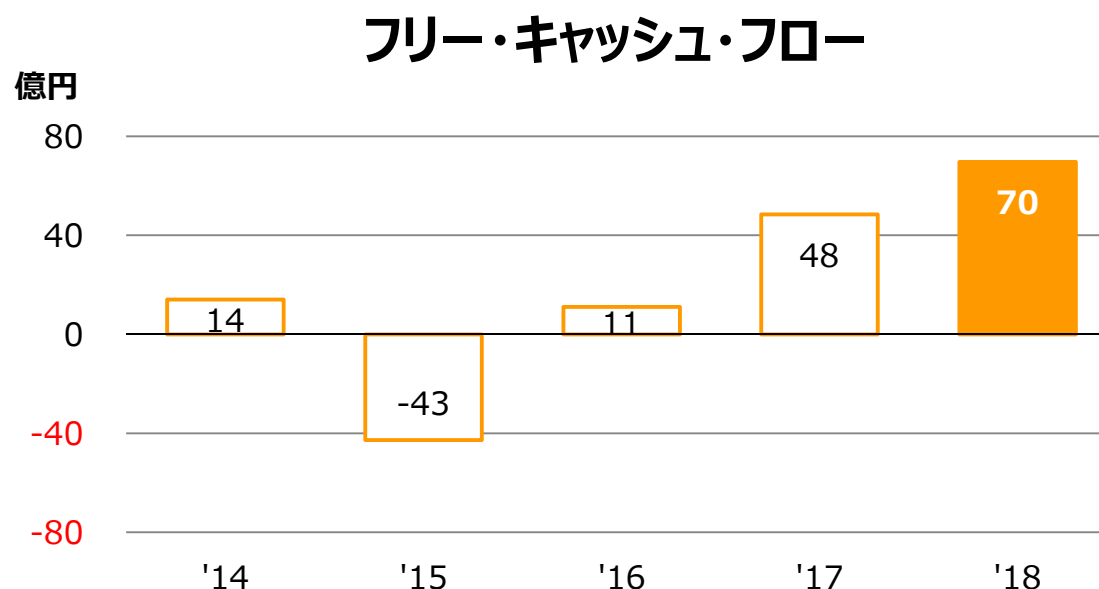
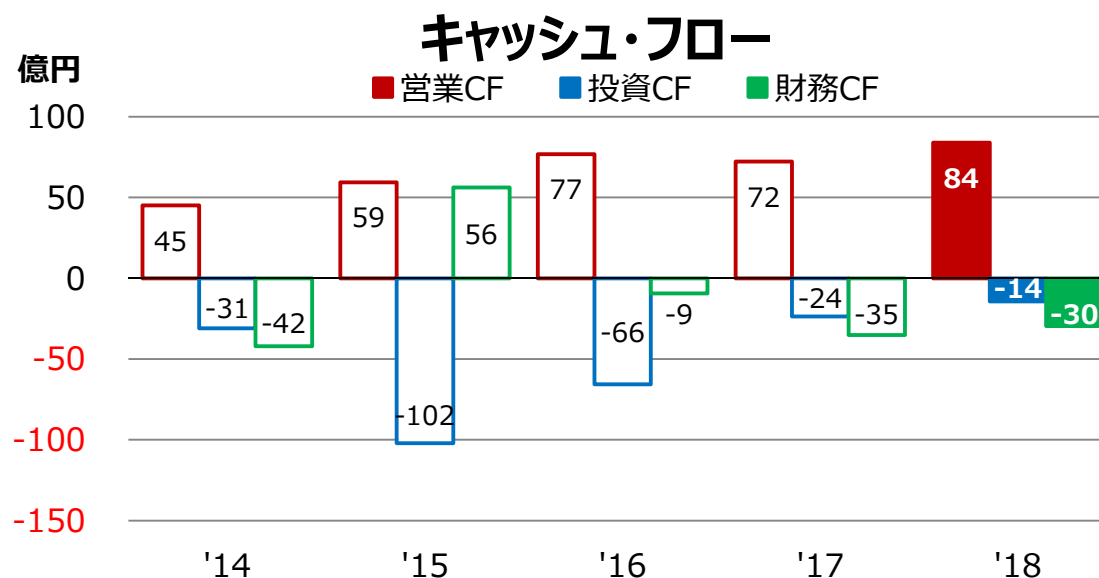
ROE



連結キャッシュ・フロー計算書



(億円)	2017	2018	増減
営業CF	72	84	+12
投資CF	-24	-14	+9
財務CF	-35	-30	+5
現金等の増減	13	40	+27
現金等の期首残高	79	92	+13
現金等の期末残高	92	132	+40



Ⅱ. 中期経営計画

● 経営数値目標の達成度

(億円)	2015年度 実績	2018年度 目標	2018年度 実績
売上高	686	1,000	915
営業利益	75	100	95

● 基本方針に基づく取り組みの成果

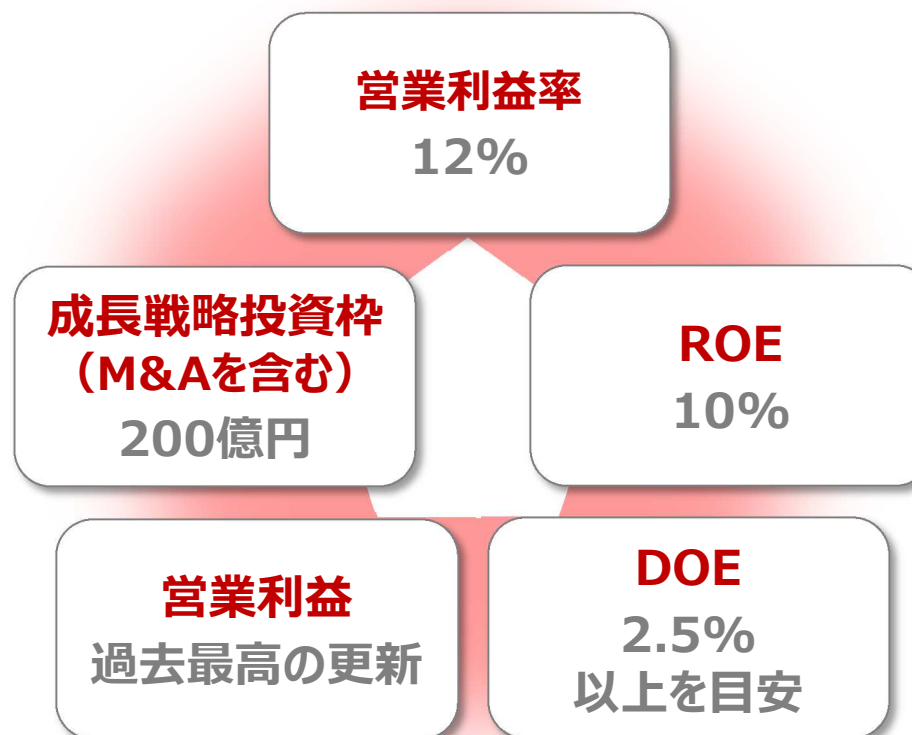
- ① 新規事業の開拓
 - 想定していた防災・消防分野における周辺事業の立ち上げは道半ば
- ② 既存事業の収益力強化
 - 連結営業利益率10%を維持し、利益を伴った成長を達成
- ③ 商品開発力の強化
 - Brontoと共同開発した車両など、多数の新型車両を市場に投入
- ④ 持続的成長に向けた投資の推進
 - Bronto買収後のPMI推進、環境車輛事業の新工場移転を実施

グローバルな総合防災ソリューション企業へ

● 基本方針

- ① 既存事業の収益力強化
- ② 海外事業・新規事業の育成、拡大
- ③ 基礎研究力・新商品開発力の強化
- ④ 革新力を持った人財の育成
- ⑤ CSR活動の推進

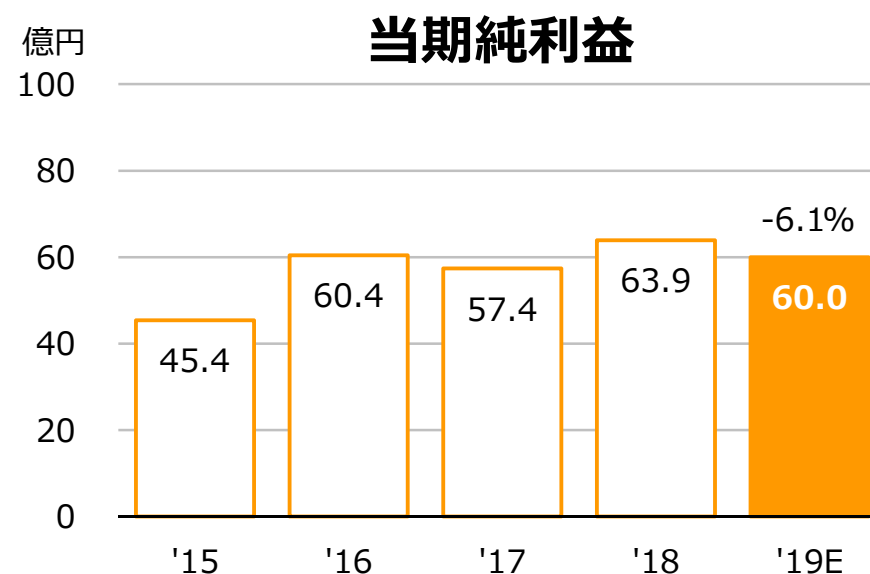
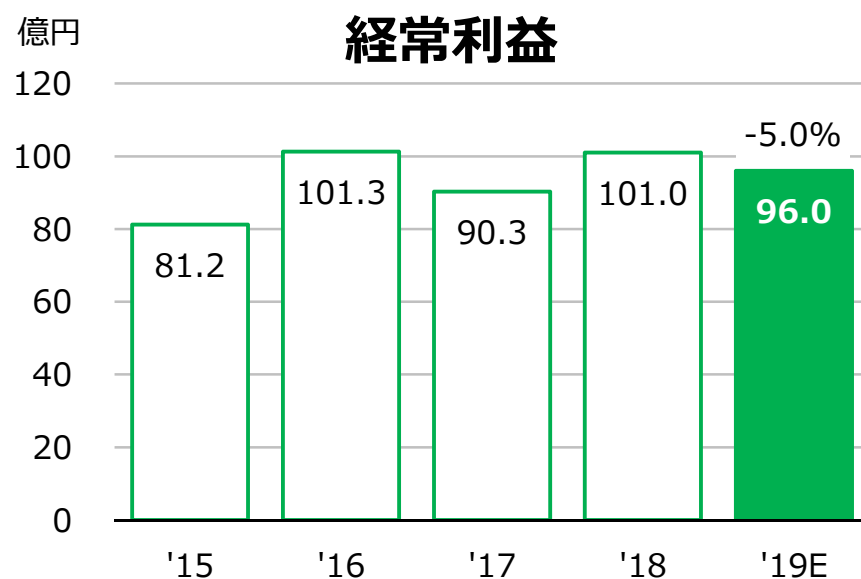
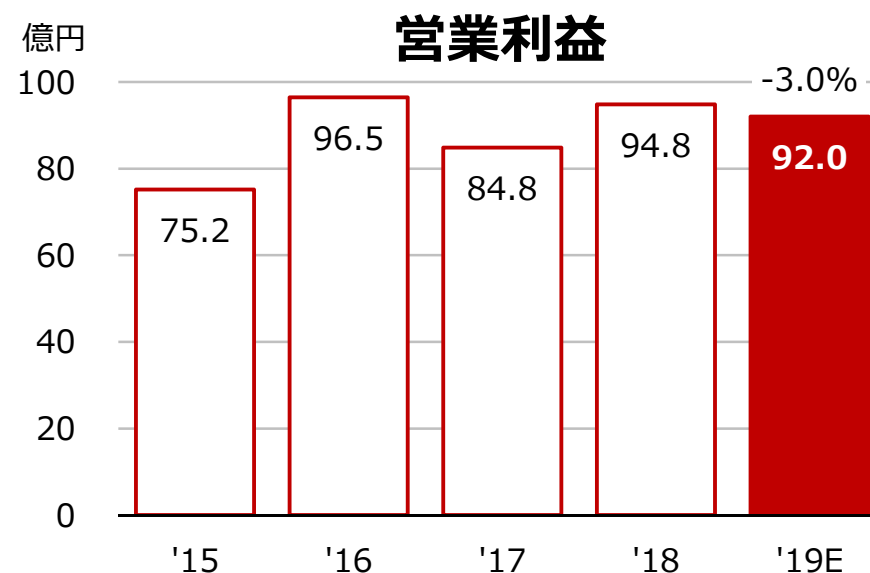
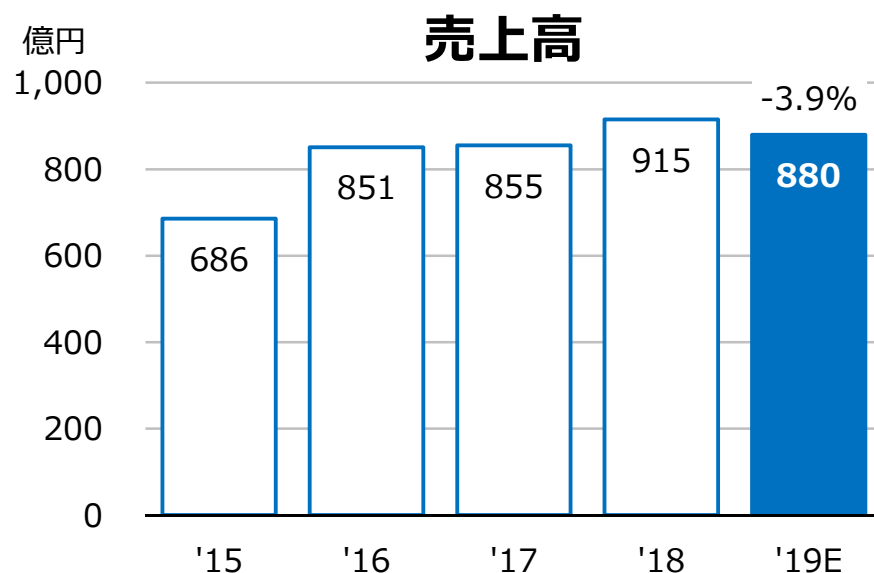
● 経営数値目標<2025年度>



Morita Reborn 2025
(2019~2025)

Ⅲ. 2019年度 業績予想

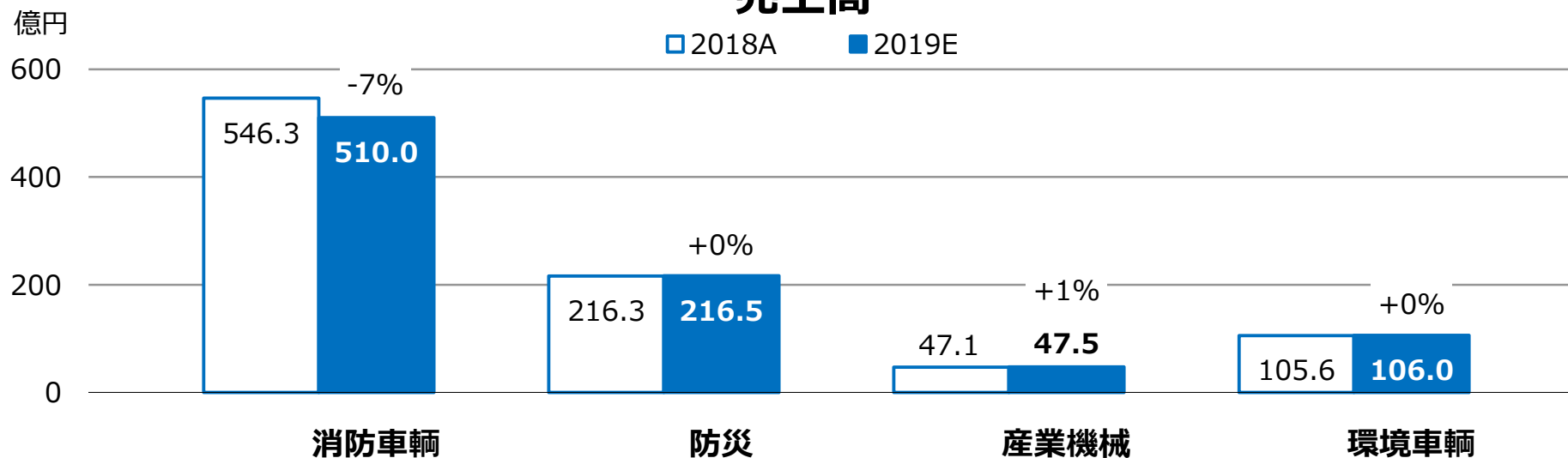
連結収益予想



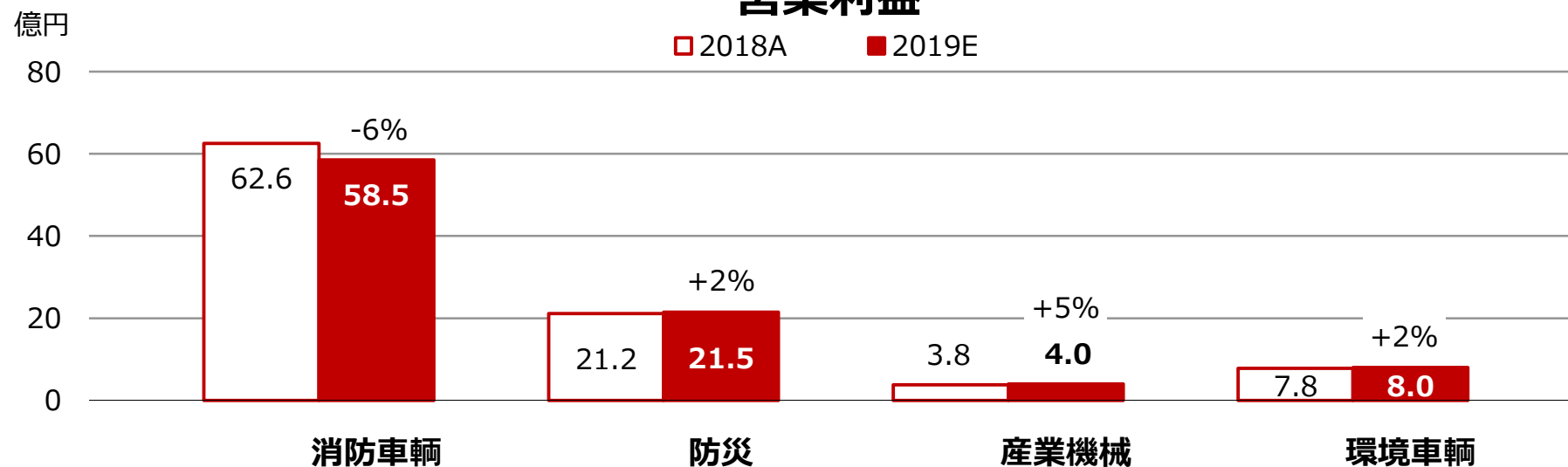
セグメント別 収益予想



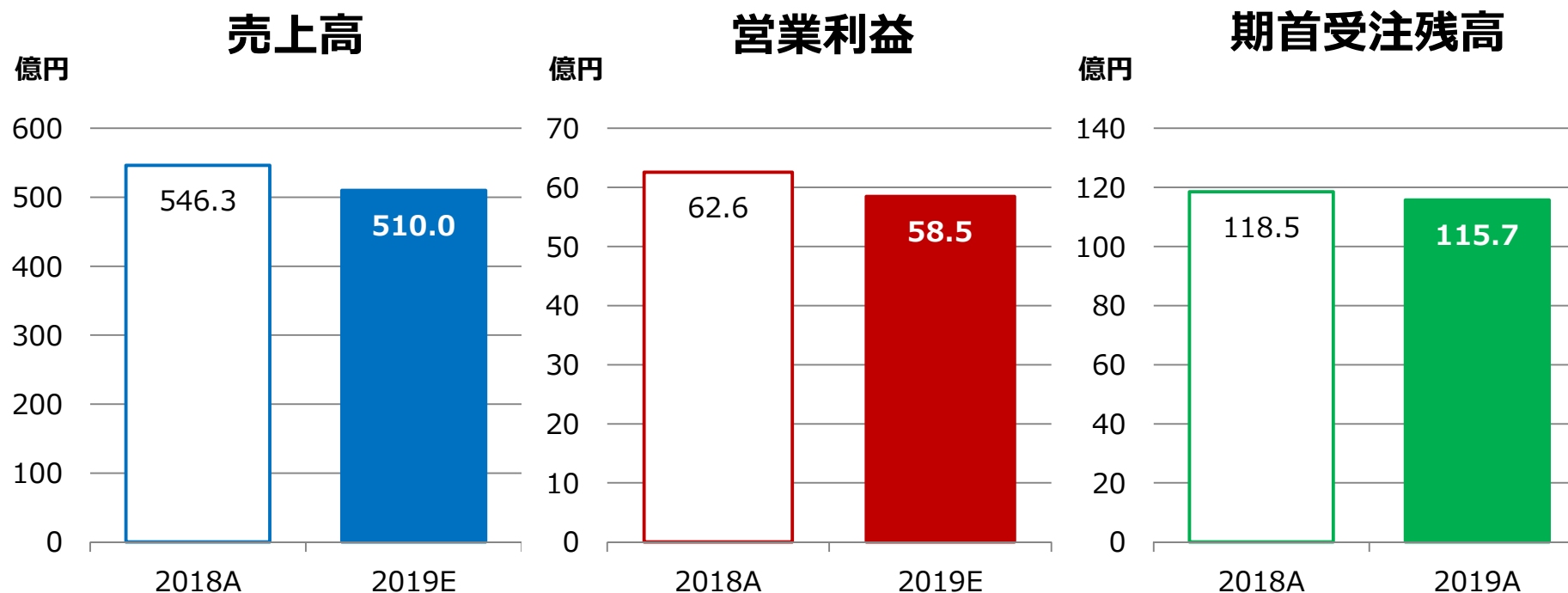
売上高



営業利益

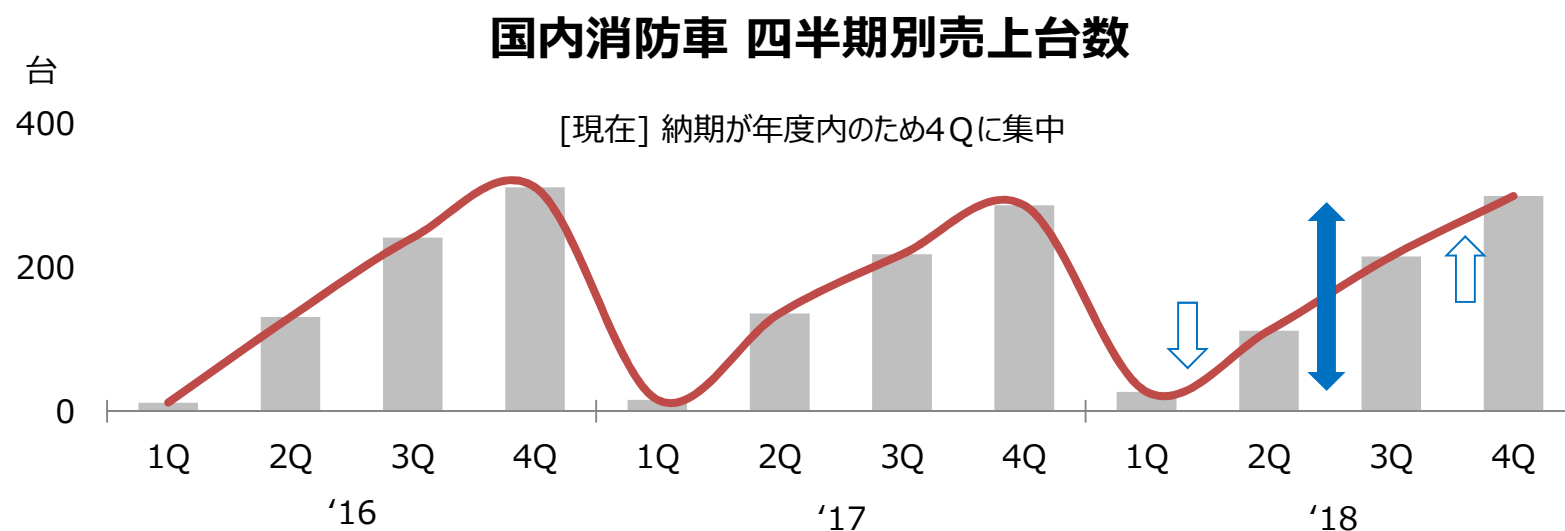
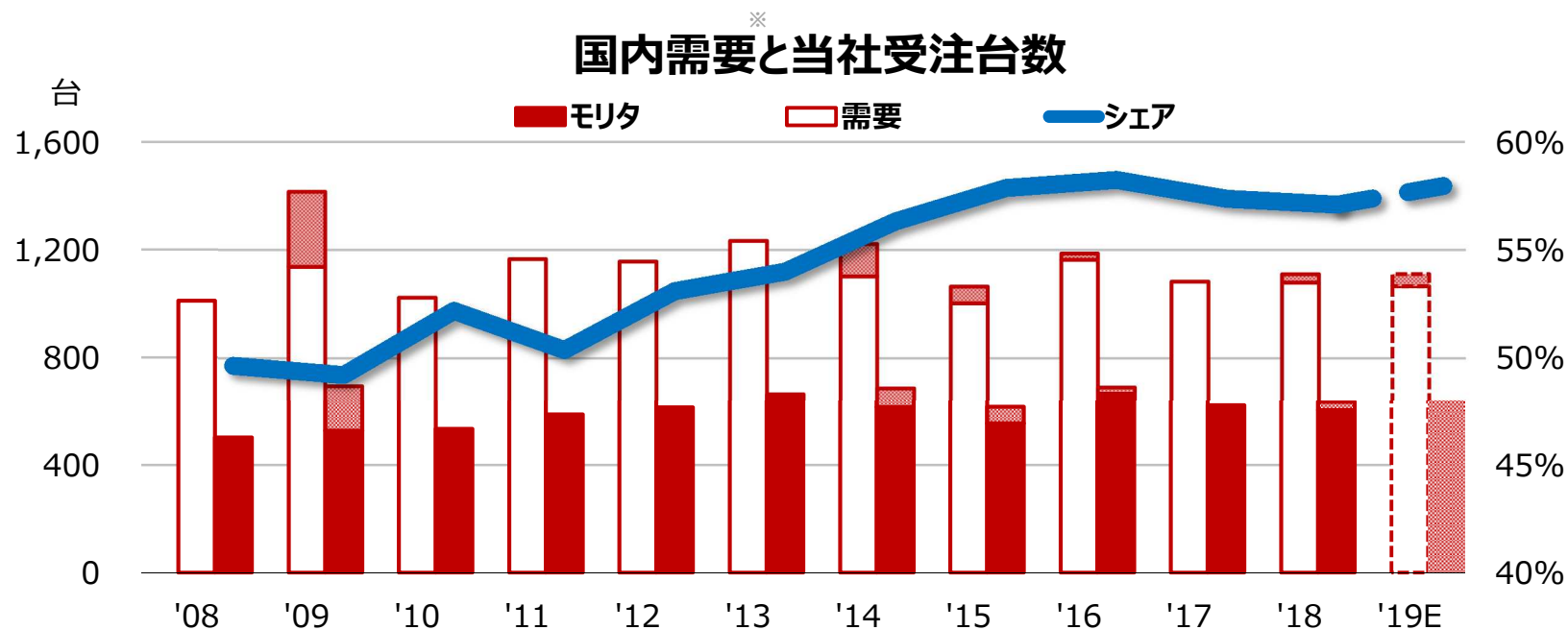


IV. セグメント別概況



● 2019年度 予想

- 総務省消防庁より「消防車両の調達における早期発注及び適切な納期の設定について（通知）」が発出され、適用初年度となる2019年度は、次年度繰越し案件の規模が不透明なため、業績予想には一定額を織り込む
- 2018年5月に発表の新型車両の受注拡大を狙う



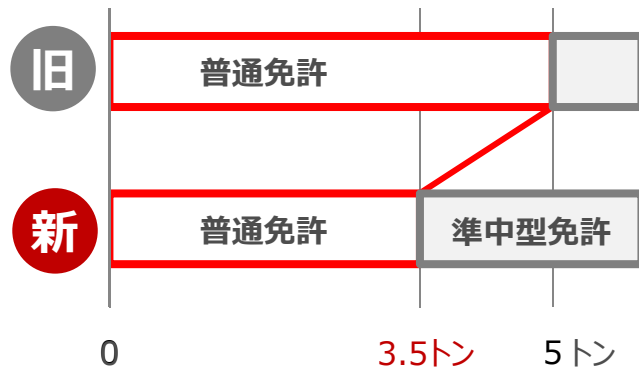
※ 自社調べ

普通免許対応
車両総重量3.5t未満

ミラクルLight



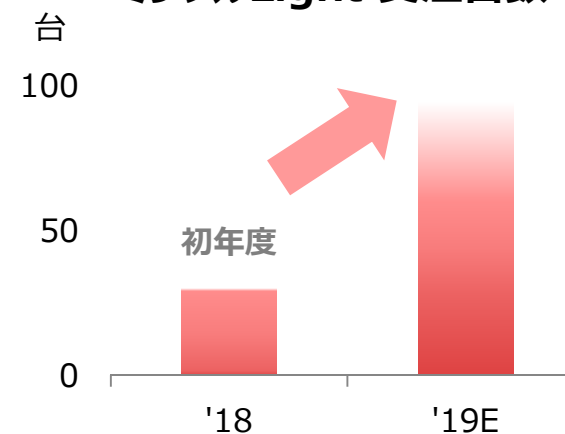
2017年3月 道路交通法改正



普通免許で運転できる
範囲が縮小

軽量化

ミラクルLight 受注台数



- 少量の水で高い消火性能
- 消防隊員の負担軽減（ホース反動減少）
- 水損被害の防止
- 環境負荷軽減（天然系消火薬剤）



CAFS Compressed Air Foam System

省力化

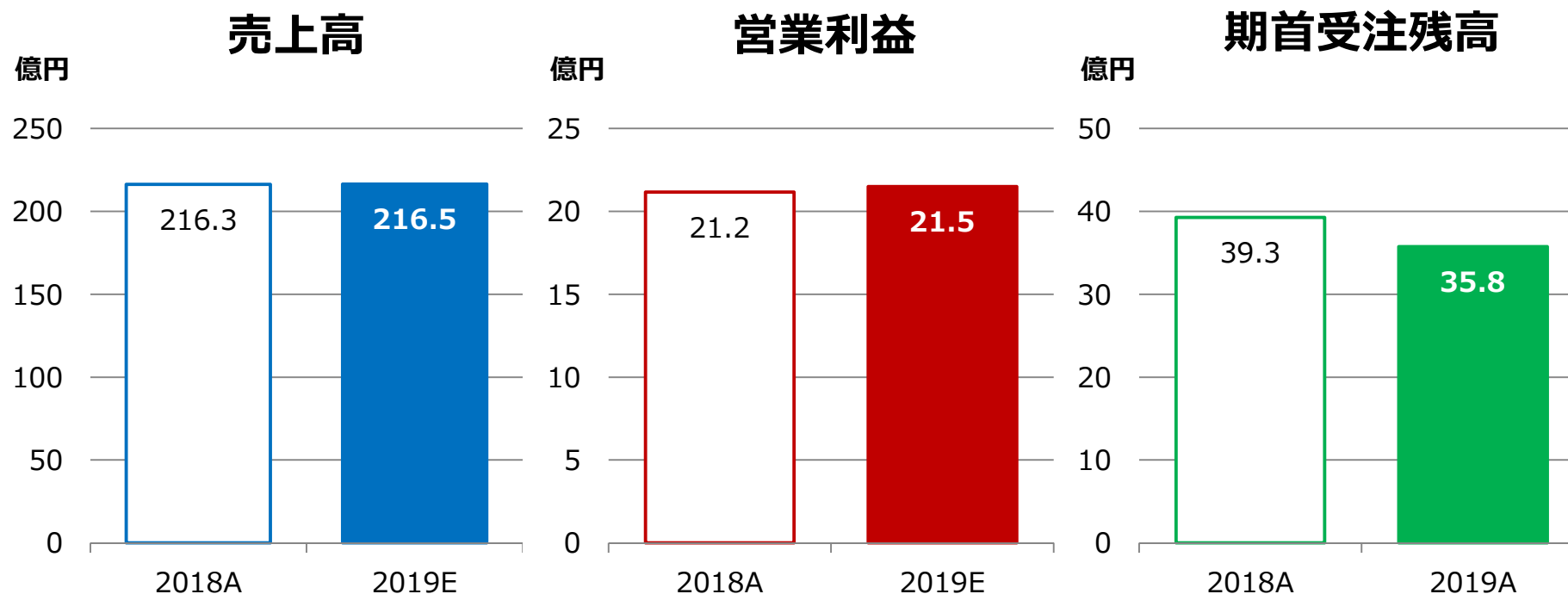
多機能化

MORITA × BRONTO SKYLIFT



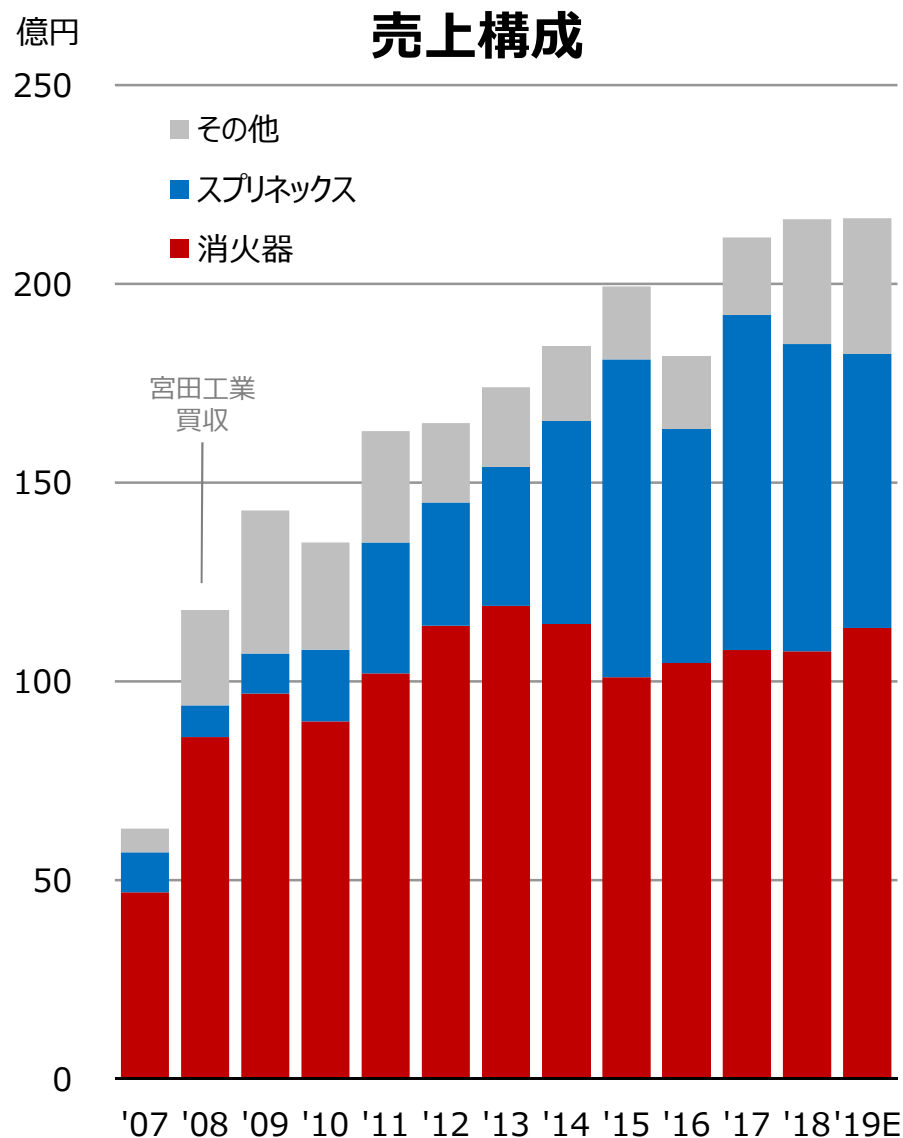
2019年度
iFデザイン賞受賞

MVF21 21mブーム付き多目的消防ポンプ自動車
Morita Various Fighter



● 2019年度 予想

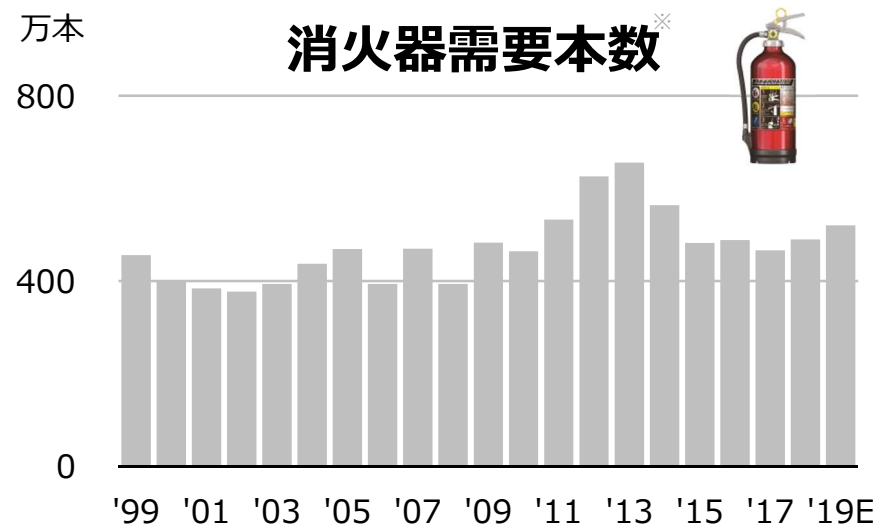
- 消火器は、法改正により、小規模飲食店に対して設置が義務化されることから、需要が増加する見通し
- スプリネックスは、共同住宅向け等を伸ばすも、有床診療所向けの補助金案件の規模が不透明なため、業績予想にリスクを一定規模織り込む



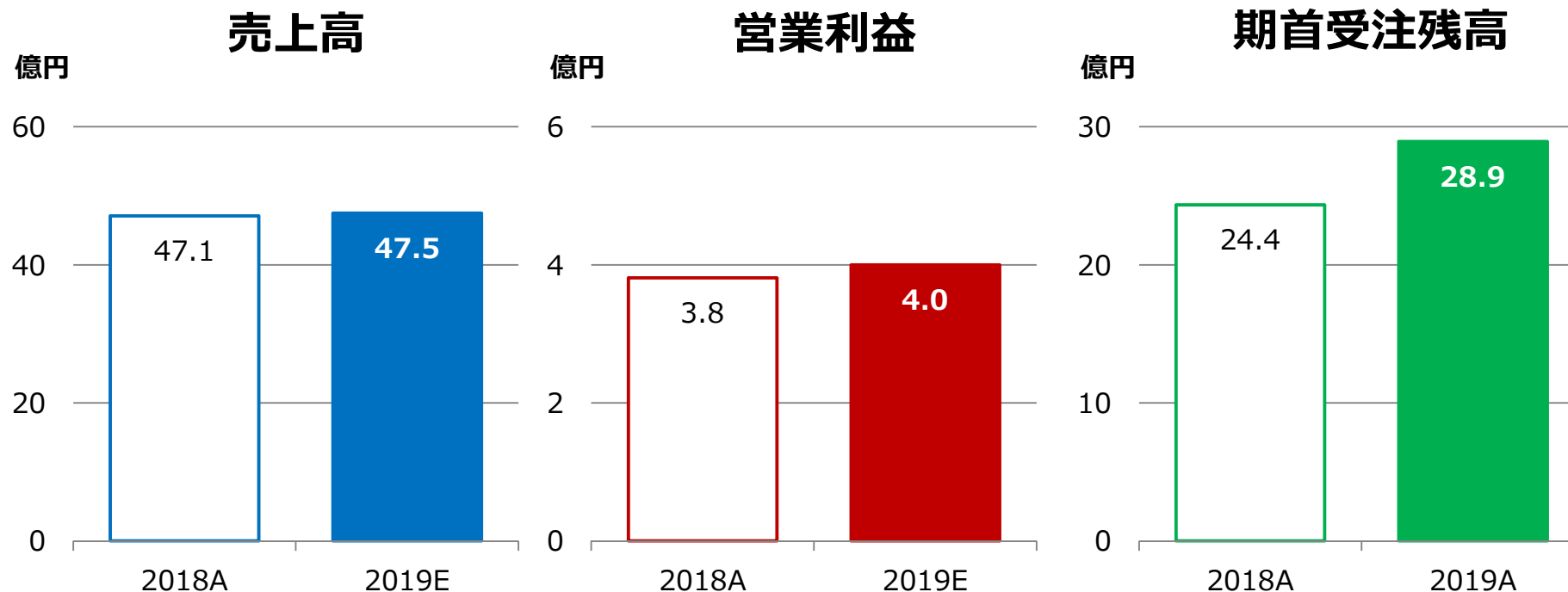
パッケージ型自動消火設備 スプリネックス SPRINEX



- 高い消火性能（水の約4倍、再燃を抑制）
- 火災を早期に感知
- 水損被害の抑制
- 断水時も使用可能・凍結の心配不要
- 大掛かりな設置工事が不要

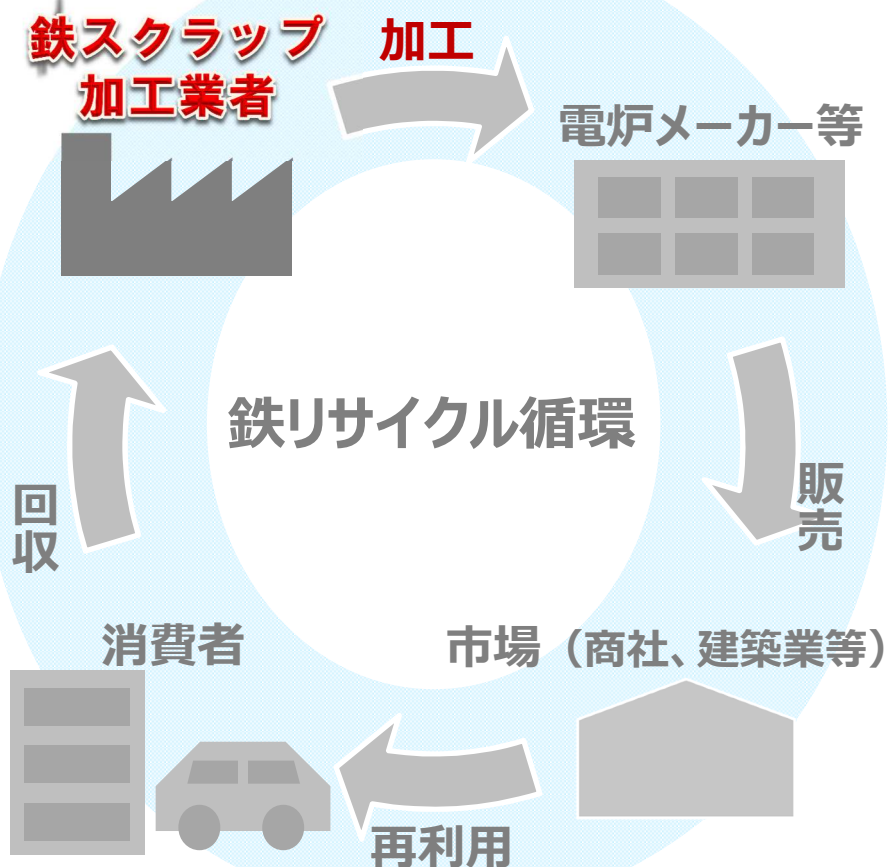


※ 自社調べ



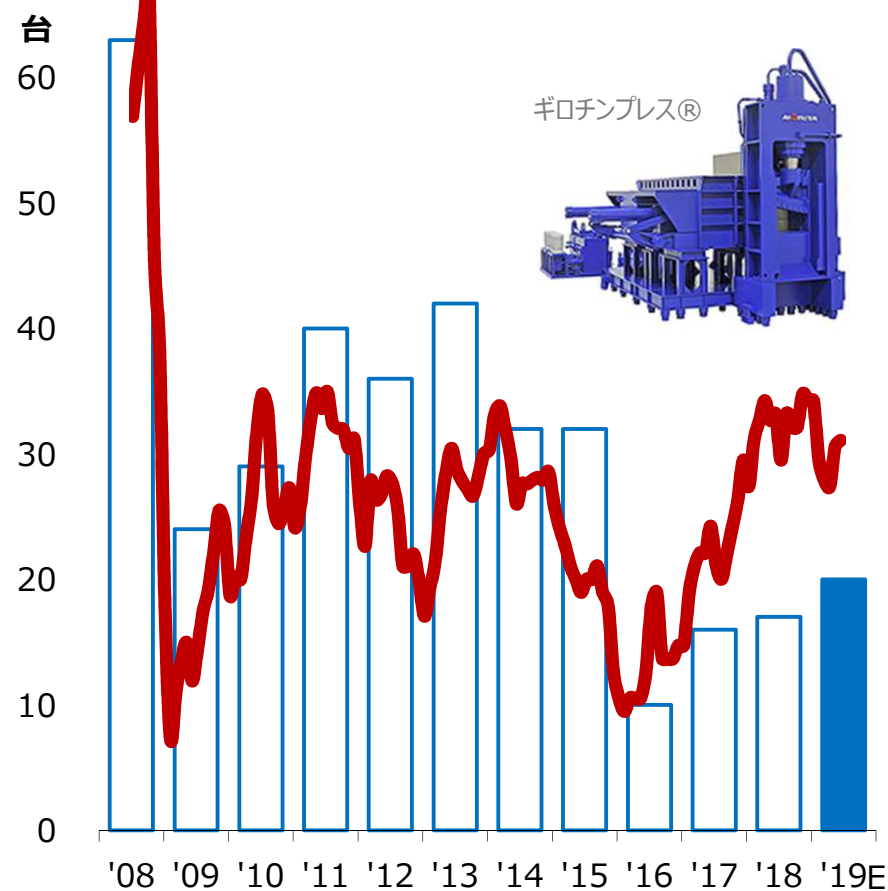
● 2019年度 予想

- 鉄スクラップ価格が堅調に推移しており、切断機需要も漸増し、増収増益の見通し
- 部品・メンテナンスの強化により収益力の向上を目指す

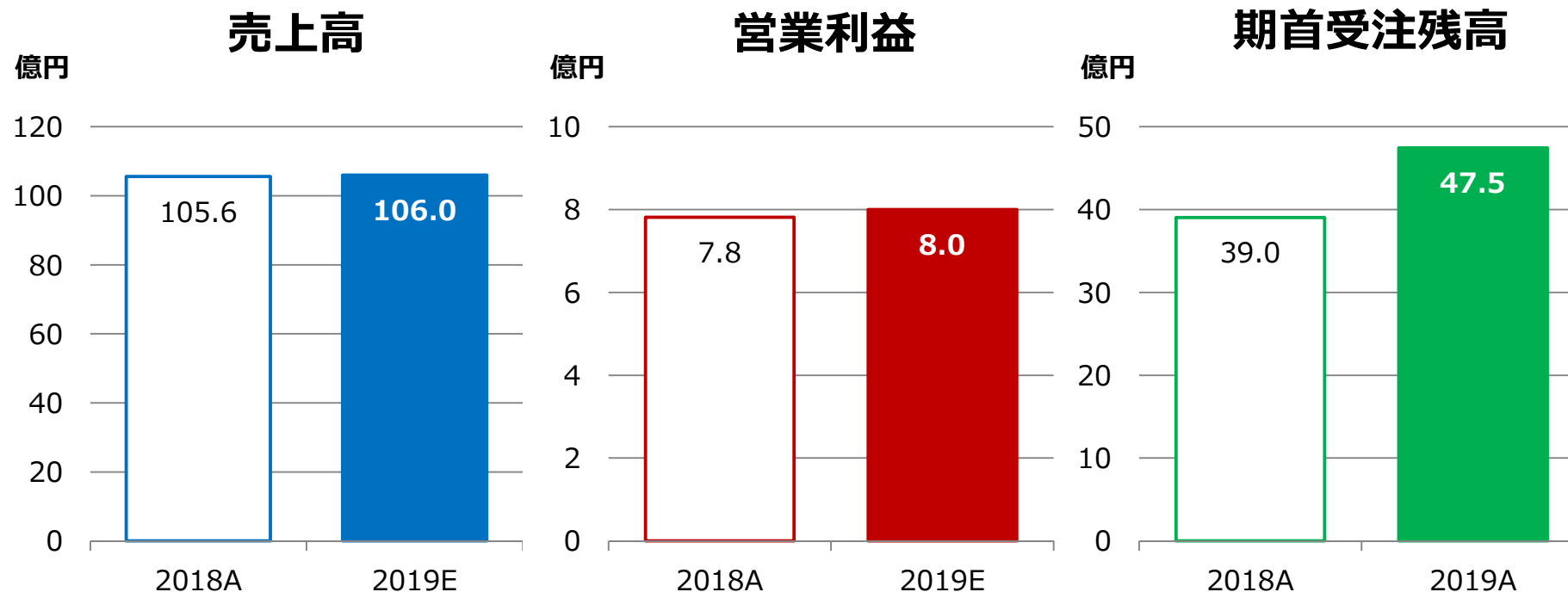


鉄スクラップ市況と 切断機需要台数

— H2炉前平均価格 ■ 切断機需要台数



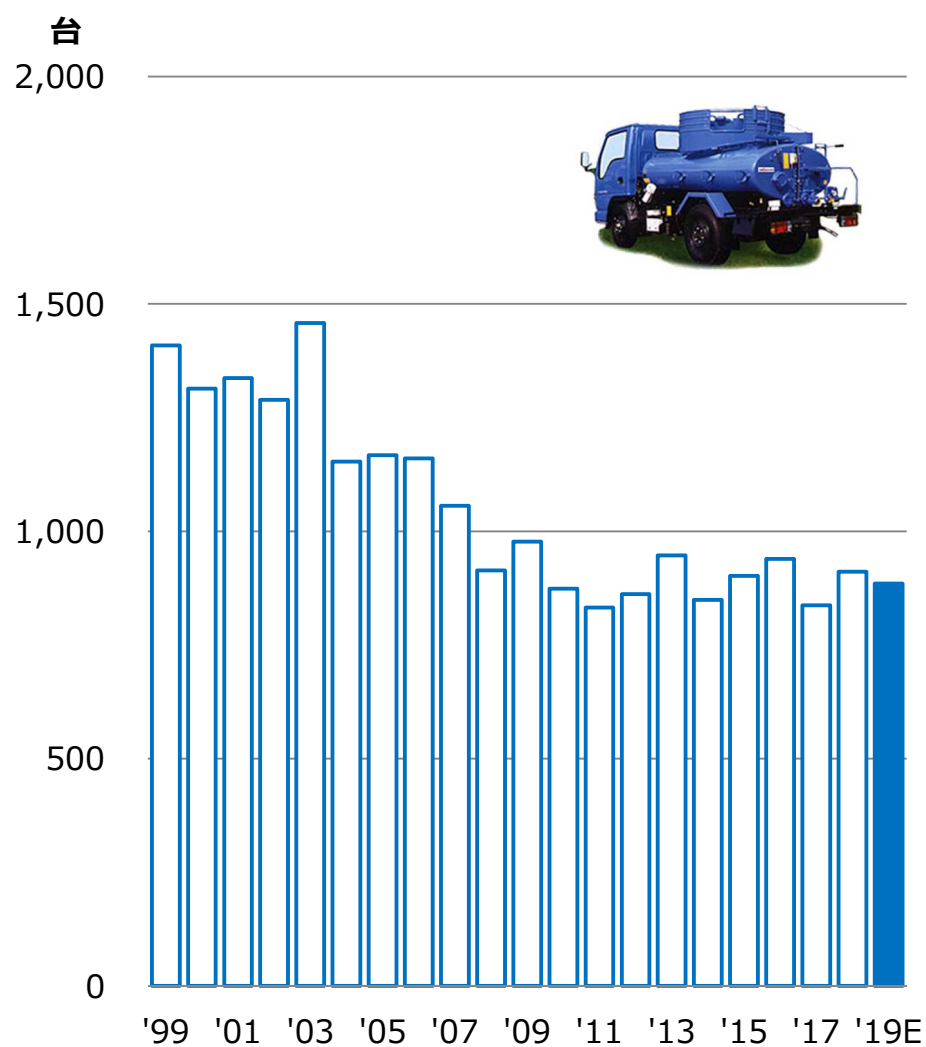
※ 自社調べ



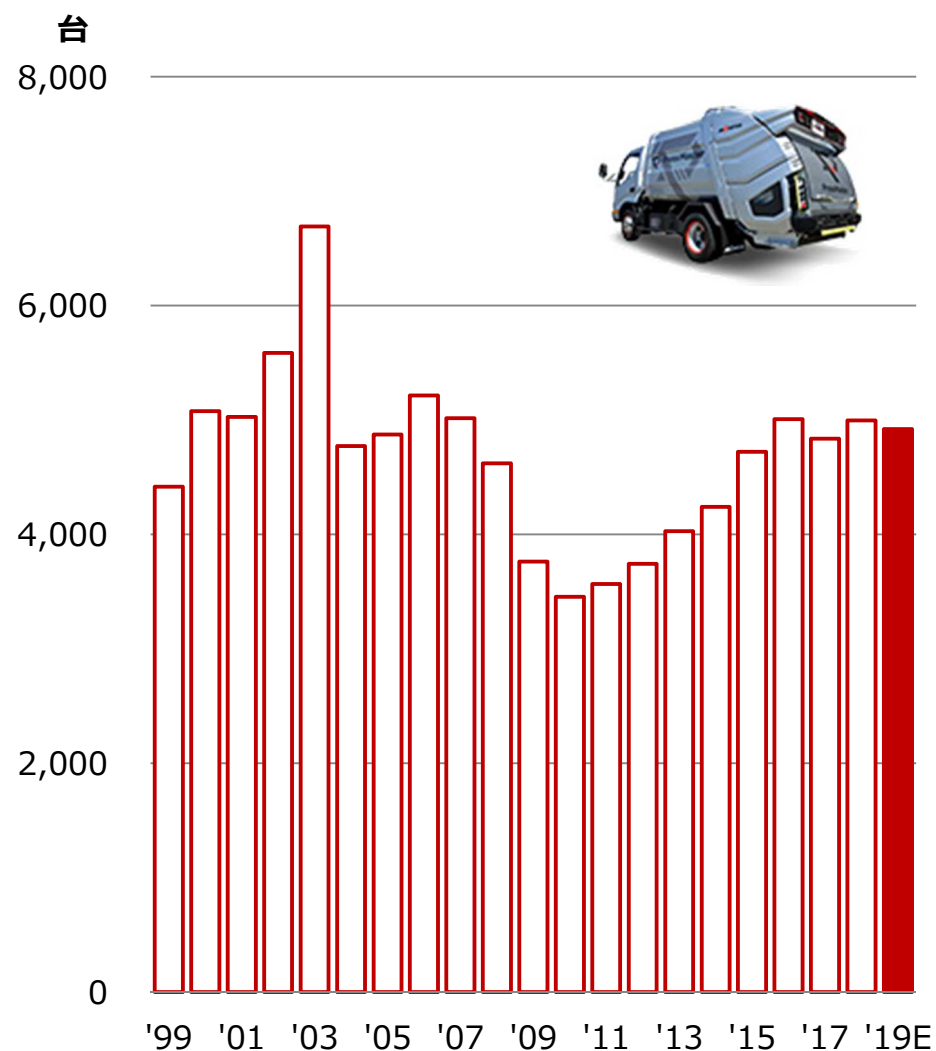
● 2019年度 予想

- 2019年9月の排ガス規制強化に伴う新型シャシ導入により、2018年度の受注は駆け込み需要が発生
- 需要は反動減が予想されるも、新型車両投入によるシェアアップで増収増益を目指す

衛生車需要台数[※]



塵芥車需要台数[※]



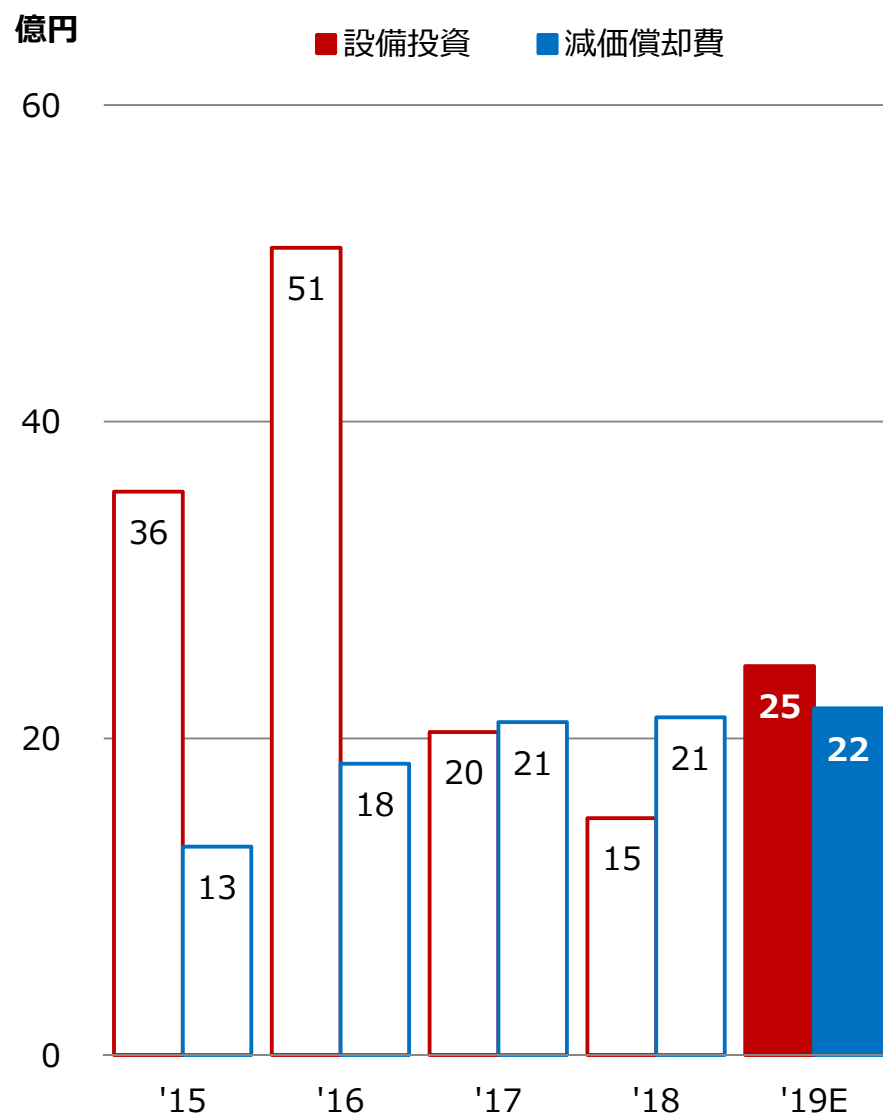
※ 自社調べ

V. 投資及び株主還元策

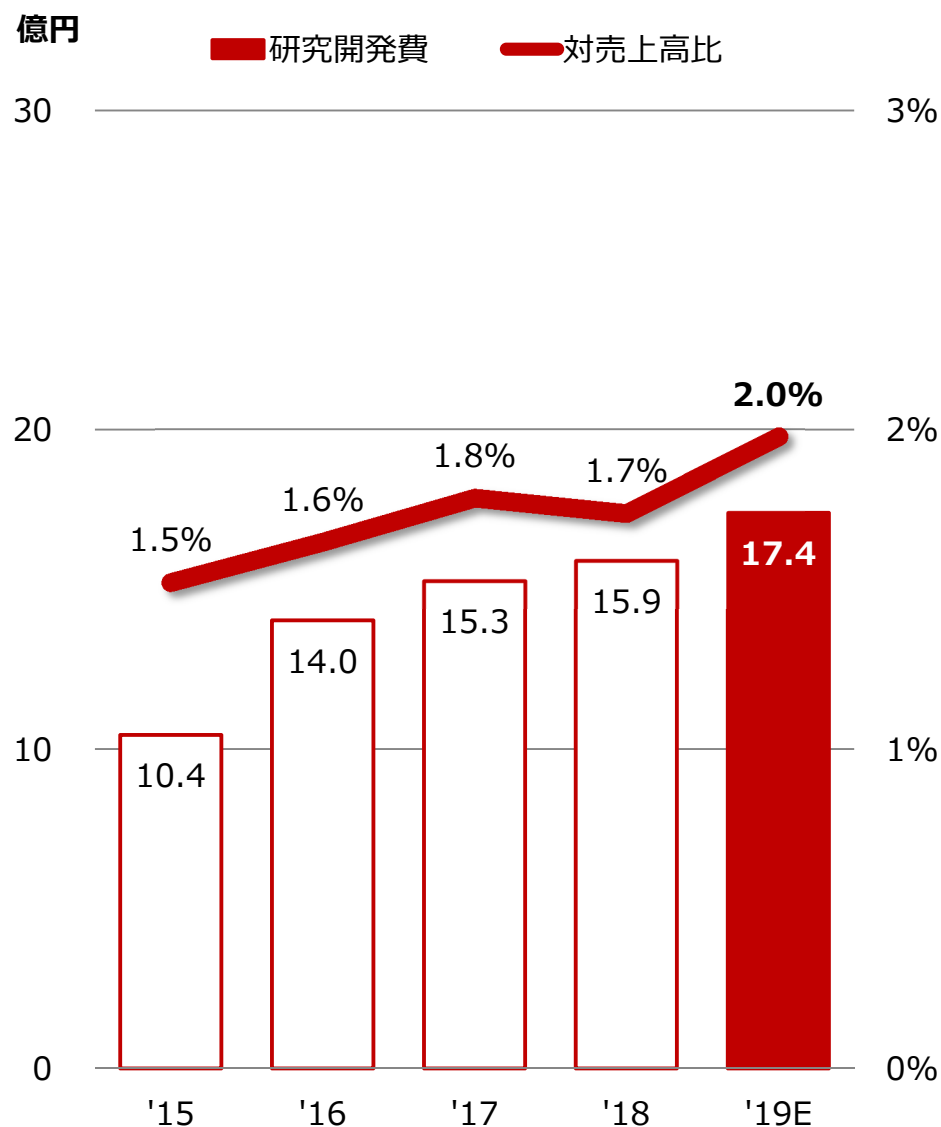
設備投資・減価償却費・研究開発費



設備投資・減価償却費



研究開発費



配当方針の変更 (2019年4月26日)

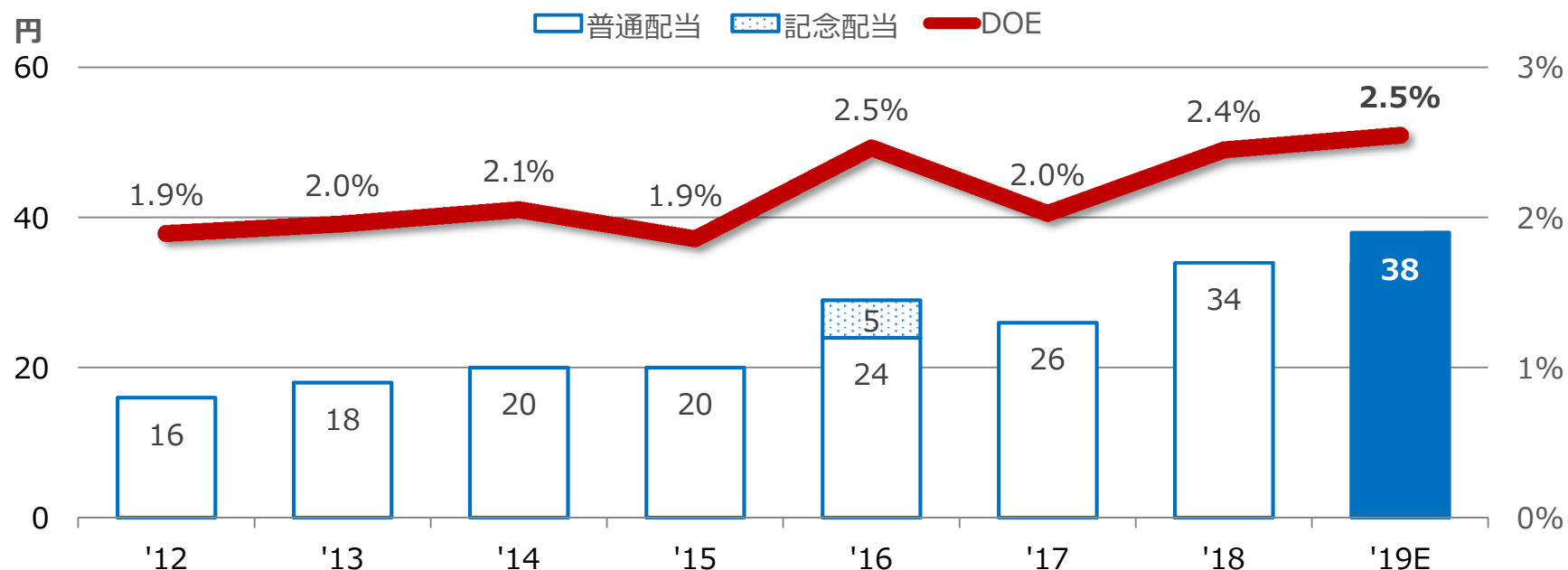
(変更前)

財務体質と企業基盤の強化を図りつつ、「安定的な配当の継続及び向上」を基本方針とする。

(変更後)

財務体質と企業基盤の強化を図りつつ、「安定的な配当の継続及び向上」を基本方針として、**DOE (株主資本配当率) 2.5% 以上を目安**とする。

一株当たり配当金とDOEの推移





本資料に記載されている業績予想及び将来の予測、主要市場の経済環境及び製品需給の変動等に関する記述は、入手された情報に基づき判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

なお、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。